

道 建 労 協 機 関 紙



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 (NIPPO 労働組合内)

電話03 (3563) 6744

URL: <http://www.doukenroukyou.com>

2014年 年頭挨拶

「道路建設産業の魅力化に向けて」

道建労協加盟単組の組合員ならびにご家族の皆様、明けましておめでとうございます。

新春をご家族の皆様と共に明るくお迎えのこととお慶び申し上げますとともに業務に従事された皆様には心より慰労の意を表します。

昨年を振り返ってみますと、東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し日本中が沸きたちました。また、プロ野球では創設9年目の楽天が初のリーグ制覇及び巨人との日本シリーズを制して日本一となりました。楽天ファン、プロ野球ファン以外の人々も大きな感動を覚え、不思議と涙が出てきたのは私だけではないでしょう。特に東北の方々は、震災からの復興に向け勇気と感動を共有する明るい大きな出来事でした。経済面では「アベノミクス」効果により円安、株高が進行し、輸出産業を中心に業績が改善し、デフレからの脱却に向け、動き出した一年でした。

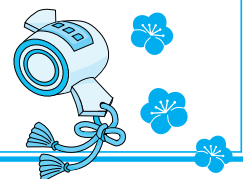
我々が置かれている建設産業に目を向けると、震災復興工事以外にも国土強靱化基本法案の成立など、全国的に公共工事が増加傾向であり、西日本地域においても忙しい状況となりました。しかし、全国的な工事の増加に伴い、労務費の高騰や資機材単価の上昇が続いております。今年度の道路舗装大手各社の業績は概ね順調に推移しており、今年度決算も好業績が予想されている半面、人員不足は全国的に深刻であり、1人当たりの業務量が確実に増加しています。

平成26年も引き続き東北地方は復興工事が継続され、全国的にも公共工事及び業績回復による民間設備投資の回復も期待されますが、人員不足は更に進行し、人材の確保は発注官庁をも含め、建設業界全体の最重要課題となっています。

このような環境下、私たち道建労協は今年も加盟組合員のみなさん全員と力を合わせて労働環境の改善に向けて活動を続けていきます。長時間労働の解消に向けた取り組みのひとつである「土曜閉所運動」では、昨年11月の強調月間から日本道路建設業協会（道建協）からも後援を頂き、業界全体の運動として浸透しつつあります。労使共々長時間労働の解消に向け、取り組んでいるのです。若者が希望を胸に安心して入職できる産業を目指して業界全体の魅力化のため、「ワーク・ライフ・バランス」の促進に先頭に立って活動していきます。この問題は何年も前から続く課題ですが、官民一体となり、産業の魅力化に注力している今こそ大きく前進するチャンスが来ています。自分自身のため、後輩のため「変わらない」から「変えなければ」という意識改革を行い、労使が理解・協力することで、会社の発展と労働環境の改善が前進すると考えますので、本年も引き続きご支援とご協力をお願い致します。

最後になりますが、本年が加盟組合員の皆様とご家族にとって健康で実りある素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

道建労協 議長 山下 剛



「背負う重圧」

2014年は2月にソチオリンピック、6月にブラジルワールドカップとスポーツ好きな方には目の離せない一年となりそうです。

選ばれた選手は国を背負う重圧と戦いながら、自らの力を発揮しなければならぬ。また結果を残さなければ、今までの努力の過程など知られない人達に好き勝手言われてしまいかねないリスクも背負って戦いに挑むわけですね。その重圧たるや私には想像すらできません。

我々の業界も特に作業所長を担っている方々は、会社の看板を背負って日々奮闘し、更にそれぞれ家庭の看板も背負っているわけですから、日本代表選手と変わらない重圧と闘っているわけですね。もしかしたら家庭の重圧の方が何より厳しいのかも。

昨今、若い人達の業界離れが深刻な問題となっており、華やかな舞台で活躍する日本代表選手が若者に夢を与えるように、道なき所に道を造るという大きな仕事をしていく我々の業界に、若者が夢や希望を持って環境を整えるべく、一歩ずつでもみんなで作っていくという未来への道に、それと信じて！

フジタ道路職員組合 神田 知典

フリーウェイ

企業訪問・関係団体訪問

11月土曜閉所強調月間に合わせて、10月に各加盟単組企業や関係団体へ協力要請を行いました。一昨年度道建協が人材確保に関する基本方針の中で第2土曜日閉所を掲げました。その後の話し合いの中で、道建協の土曜閉所推進運動（前回の6月より第2土曜日の統一土曜閉所も明記）が業界全体の取り組みであることを明確に示すため、道建協がこの運動の後援に加わってくれました。各社の社長からも、組合員のワーク・ライフ・バランスの実現や次世代の人材確保という観点から、この運動には協力を惜しまないという姿勢を示していただきました。日合協も計画的な休日取得の推進を展開すべく取り組んでいます。広島県の合材協会では、4月より第2土曜日閉所を展開していくと聞きました。改めて労使協働での取組を強化し、結果を出していけるようにしていきます。

各社でのこの取り組みに対する温度差が多少はあるようですが、今手を抜いたところはきっと他社から置き去りにされるはずで。会社として前向きに取り組んでくれるよう各単組しっかりと主張していきましょう。それとともに企業側の努力と並行して私たちが出来ることを少しずつでも着実にやっていく必要があります。お互いの協力があって進むものであり、他力本願では何も解決しません。知恵を出し合っていきましょう。

大林道路(株) 	大成ロテック(株) 	東京舗装工業(株) 	(株)NIPPO 	フジタ道路(株) 	前田道路(株) 
三井住建道路(株) 	道建協 	日合協 	日本道路(株) 	厚生労働省 	道建協 四国支部 
道建協 中国支部 	道建協 九州支部 	日合協 四国地区連絡協議会 	日合協 中国地区連絡協議会 	福岡県アスファルト合材協会 	建設産労懇プレス発表 

地協のない地域の交流会



四国地区

ある会社側も取り組む姿勢を見せている状況だとのこと、それは今回のポスターに道建協が後援に加わっていることでも示されていました。また、各社とも採用で苦戦している状況で、こうした運動の成果を上げることが入職希望者の回復に寄与することも説明がありました。

四国は香川・徳島と愛媛・高知で風潮が全く異なっており、前者は第2・第4土曜日の閉所がある程度進んでいるが、後者は土曜日も全く関係なく工事・合材とも動いているという状況です。業界の慣例もありますが、所屬長の意識も変えていく必要があると思いました。

2013年10月23日(水)高松東急インにおいて、各単組と本部合わせて総勢14名で四国地区交流会が開催されました。まずは山下議長から土曜閉所運動を取り巻く環境について説明がありました。この運動は組合側だけが一方的に活動している訳ではなく、今や業界団体である道建協を筆頭に会員で



所屬長の意識も変えていく必要
前田道路労働組合 彌永 宣崇



2013年10月24日(木)、広島のホテルセンチュリー21にて「道建協 中国地域交流会」が開催されました。5単組13名が参加、また、道建協本部より山下議長、高島副議長、服部事務局長に参加いただき、活発な意見交換が行われました。

土曜閉所強調月間の取り組み、時短・休日取得、若手社員・人材の確保、若い社員の離職率の増加など、各単組の抱える問題点について意見を出し合い、今後の解決策の糸口となるよう意見交換を行いました。また懇親会では、普段触れ合うことの無い各単組同士でいろいろな意見を交換し、懇親を深めました。

NIPPO労働組合 佐々木 英彦

中国地区



九州地区

いての意見交換を行いました。

九州地区においては、若年職員の配置が相変わらず少ない事、地域採用の職員数が不足している事が各単組共通の課題となっております。「技術の伝承」という意味でも、若年職員や地域採用職員をできる限り積極的に採用していく事が急務であると感じました。

なお、会議終了後の懇親会では和やかな雰囲気のもと各単組の方々との交流を深める事が出来、非常に有意義な交流会であったと思います。また、今後は各単組と連絡を取り合う事で、同業他社との交流を深める体制を構築していきたいと思います。

大林道路職員組合 木村 智巳



地協の紹介



北海道地協

2012年度より、北海道地協の幹事長となりました、前田道路労働組合の今井と申します。今年で2年目となりますが、なにぶん不慣れな幹事長の業務であり、副幹事長をはじめ幹事の皆さんの温かいサポートのもと、務めさせて頂いております。



さて、北海道地協は、現在、大林道路職員組合、大成ロテック社員組合、NIPPO労働組合、前田道路労働組合、三井住建道路労働組合の5単組が所属しております。当地協の活動は、各単組の情報交換や意見交換の場としての幹事会の開催、また定期的にボーリング等のレクリエーションを実施して、各単組の職員間のコミュニケーションを図っております。北海道地協での各単組のかかえる悩みは同じようで、少ない職員で業務に取り組んでおり、そのような中で労働組合活動の取り組みも苦労されているようです。今後は、少ない組合員でも参加しやすく、若手職員でも気軽に参加できるようなレクリエーションを企画・開催していきたいと考えております。

北海道地協 幹事長 今井 英樹（前田道路労働組合）



関東地協の幹事長をしております、前田道路労働組合の菊池です。2008～12年度まで事務局長をしておりました。歴代の議長、副議長をはじめ幹事の方々と築いてきた活動を継続しつつ、新副幹事長、幹事の方々に支えられながらがんばっております。

当地協の活動は、幹事会を開催し、幹事の方々と意見交換し、情報共有していくところにあります。また、若年技術者を囲み、業務の簡素化による時短、土曜閉所、若年者の離職改善などの意見交換会もおこなっております。難しい問題ばかりではなく、恒例となっておりますボウリング大会・ピンゴ大会等のレクリエーションも、各単組から数名ですが参加していただき、単組の枠を超えて交流を深められる楽しい場も設けております。

限られた予算の中での開催となりますし、忙しい業務の合間での活動になってしまいますが、参加できる機会がありましたら積極的に参加していただきますようご理解ご協力のほどお願い致します。

関東地協 幹事長 菊池 善文（前田道路労働組合）



関東地協



中部地協

あけましておめでとうございます。昨年より中部地協の幹事長を務めさせて頂いております岡田亮輔と申します。出身単組は前田道路労働組合です。

私生活では4歳と2歳の息子たちに翻弄されつつ、嫁からは三男扱いをされていますが毎日楽しく過ごしております。

私は平成19年に建設業界に加わり、今年で8年目となりました。今思い返しますと、ボウリング大会を始め、潮干狩り・クリスマス会と各種レクリエーションにて同業界の同世代の方や先輩方と交流することができ、非常に有意義な時間を過ごしてきたように思います。

その中でも初めて参加したボウリング大会は皆さんの熱気が凄まじく、良い思い出となっています。

今後はこれまでの地協活動の良い部分を継承しつつ、新しい風を吹かせていけるよう、若手にとって建設業の魅力の一つとなることを目指して立案・実行していきたいと考えております。

若輩ではございますが、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

中部地協 幹事長 岡田 亮輔（前田道路労働組合）



今期より関西地協の幹事長を務めることになりました前田道路労働組合の池永です。関西地協の幹事になって5年目となります。他の幹事の方々と力を合わせ、今後も関西地協における単組間交流が活発に行われるよう活動していきたいと思っております。

関西地協の幹事は現在10名で活動しており、年4回程度の幹事会を開催し、レクリエーションの打ち合わせや単組間での意見交流を行っています。

関西地協は毎年、ソフトボール大会とボーリング大会のレクリエーション活動を行ってきました。ボーリング大会は団体戦と個人戦にて各単組が競い合い、毎年大いに盛り上がっています。レクリエーション活動における今後の課題としては、ソフトボール大会の試合会場とメンバー確保が年々困難になってきており、ソフトボール大会に代わるレクリエーションを考えていくことが必要と考えています。今後とも宜しくお願いいたします。

関西地協 幹事長 池永 洋輔（前田道路労働組合）

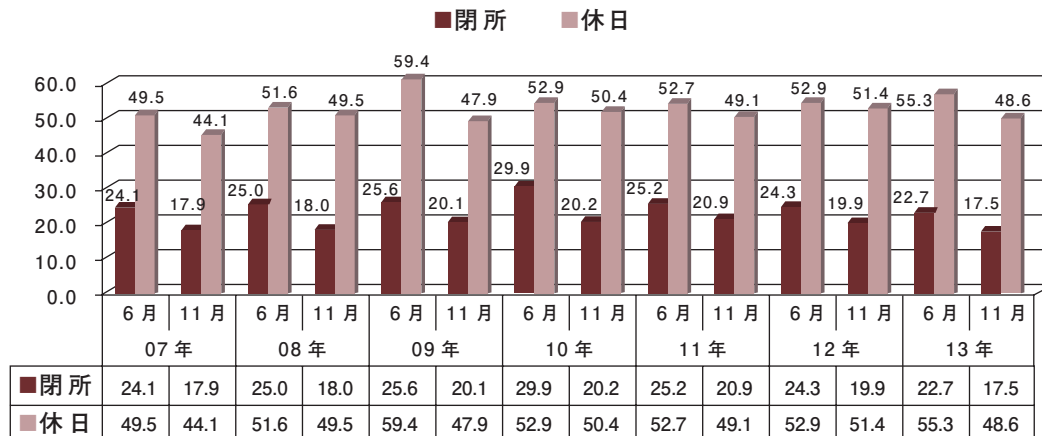


関西地協

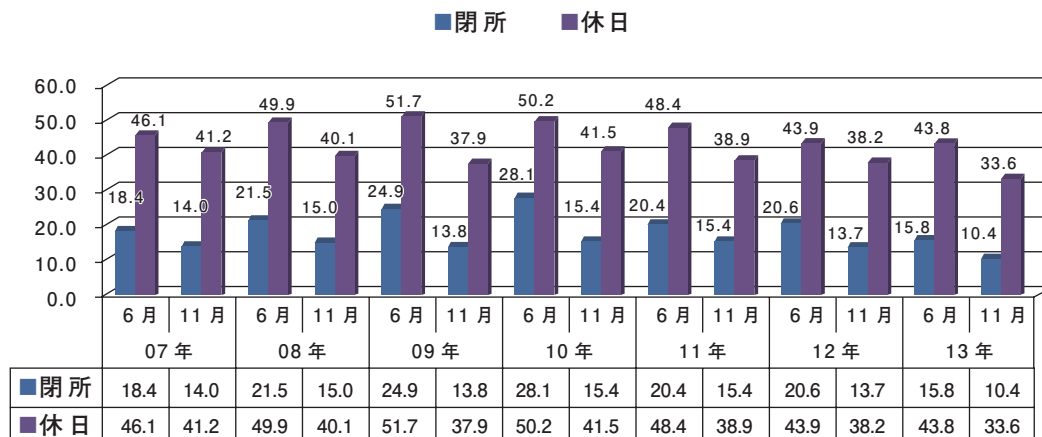
土曜閉所率・休日取得率の推移

※2013年11月の土曜閉所推進運動アンケート集計結果につきましては、別途発行の「PAVE番外編」に掲載いたします。

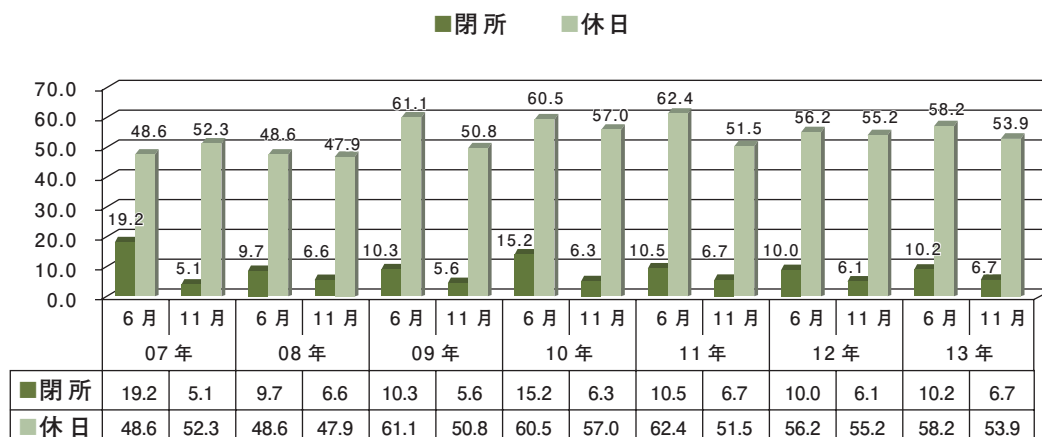
全体



工事部門



製品部門



物知りクイズ

皆さん、寒さで背中が丸まっていませんか。キラキラしたクリスマスと飲んで食べての楽しいお正月は終わってしまいました。年度末の繁忙期を乗り切るためにも、「物知りクイズ」に答えて頭をリフレッシュしましょう。

今回のテーマは「簡単な？日本の近代史」です。

Q1 明治政府は外国の脅威に備え、日本の国力増強のために中央集権化を強力に進めました。その重要な一歩である廃藩置県は4つの藩の藩主が領土と領民を天皇に返還する建白書（版籍奉還）をだしたことが、発端となりました。
4つの藩とはどの組合せでしょうか。

- ① 薩摩藩・水戸藩・会津藩・松前藩 ② 薩摩藩・長州藩・土佐藩・肥前藩
③ 長州藩・土佐藩・加賀藩・富山藩 ④ 土佐藩・宇和島藩・長州藩・庄内藩

Q2 明治時代に改暦が断行されましたが、この時の改革に含まれていないものは何でしょう。

- ① サマータイムの採用 ② 1日24時間制の採用 ③ 日曜日の設定 ④ 太陰暦の廃止

Q3 時代は昭和に移ります。日本で最初に地下鉄が営業を開始したのは1927年のことです。東洋ではじめての地下鉄として話題になりました。さて、最初に運行した区間は次のうちどれでしょう。

- ① 渋谷-新宿 ② 銀座-新橋 ③ 上野-浅草 ④ 東京-新橋

Q4 2020年の東京オリンピック開催が決定しました。皆さん楽しみですね!!
前回、東京オリンピックが開催されたのは1964年です。実はこれ以前に東京でオリンピックが開催される予定となっていたのですが、実際には開催されませんでした。その大会は「幻のオリンピック」と呼ばれています。さて、「幻のオリンピック」は何年の大会でしょう。

- ① 1936年大会 ② 1940年大会 ③ 1944年大会 ④ 1948年大会

〈応募方法〉

下記を明記してお送りください。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募をお待ちしております。

●解答

●住所（会社宛の場合は会社名もご記入ください）

●氏名 ●所属単組名

●今回の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見も是非お寄せください。

●締め切り 2/28（金）

●宛先 〒141-8665

東京都品川区大崎1-11-3 前田道路労働組合内

道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛

FAX 03-5487-0051 E-mail:kumiai@maedaroad.co.jp

※次号は9月発行の予定です。



■ 物知りクイズ当選者

池上 史子さん（大林道路職員組合）
梶浦 剛史さん（NIPPPO労働組合）
黒坂 正昭さん（NIPPPO労働組合）
岩崎 正志さん（フジタ道路職員組合）
瀬戸 麻子さん（前田道路労働組合）

◆ 組合員からのご意見（一部を掲載）

- ・PAVE 86号の編集後記「2020年、自分の体もリフォーム…」がなかなか良かった。自分もそろそろ体のリフォームをしなければ…。
- ・土休については難しいが、もっと推進していければと思います。
- ・労使セミナーの記事を読んで、考えを改めさせられる点がありました。このようなセミナーに参加してみたい。
- ・各単組、各地域の取り組みが分かり易かった。
- ・土曜閉所の結果を見てまだまだだと実感したが、これを示すことで会社や各人の意識変革へ繋がると思った。

編・集・後・記

新年明けましておめでとうございます。

さて、2015年3月卒業する学生の就職活動が本格的にスタートしています。

私たち道路舗装産業が若者から魅力を感じてもらうために、インフラ整備という社会貢献に携わる素晴らしいさをアピールし、働き甲斐のある職場の環境作りと豊かな生活の実現に取り組んで行きましょう。

そして、その実現に不可欠なのが、我々組合員のコミュニケーション能力となります。2013年の世相を表

す「今年の漢字」が「輪」であったように、繋がりを深め、好循環のスパイラルとなる「∞（無限）」の輪を創り上げて行きましょう。これまでの過当競争で、実りなき繁忙に矛盾を感じてきた方も多いと思います。これからは矛盾のない裏表なしな、実りの倍返しができるよう、盛り上げていくな、今でしょ！（しつこくてすいませんでした。じゃえええ）

とにかく、明るく前向きに頑張りましょう。

（大成ロテック社員組合 安威 堅志郎）